

企画展「戦後80年特集 戦争とくらし」の開催について

戦後80年を迎える今年、「青柳村役場兵事関係資料」が古賀市文化財に指定されました。企画展ではそれらの資料を活用し、庶民のくらしと戦争とのかかわりを、身近な資料を通して実感していただきます。平和への願いの継承について考えます。

■事業内容

事業名：令和7年度企画展

「戦後80年特集 戦争とくらし～「青柳村役場兵事関係資料」を中心に～」

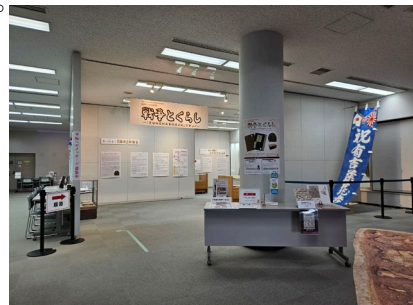
会 期：令和7年7月19日（土）～9月7日（日）10時～18時

会 場：リーパスプラザこが 歴史資料館ギャラリー（図書館2階）

■ねらい

今年で戦後80年を迎えます。戦争を知る人も少なくなり、薄れつつある戦争の記憶をいかに継承していくかが大きな課題となっています。歴史資料館が5年前から取り組んできた「戦争とくらし」展示は、戦争がもたらす影響を銃後の人々の生活をもとに掘り起こし、生命の喪失と暮らしの崩壊について、庶民の立場から知ることをめざしてきました。その中でも利用してきた「青柳村役場兵事関係資料」が、令和7年6月27日に「古賀市指定有形文化財」になりました。

今回の企画展では、その価値の周知を図るため、内容の一部をこれまで以上に活かし、身近な地域の資料を通して改めて戦争を実感するとともに、平和の大切さとそのための努力の必要性を、戦争を知らない世代に継承することをねらいとします。



■実施内容

解説パネル50枚、資料60点を展示

■主催

古賀市教育委員会



令和7年度企画展の様子

【問い合わせ先】

古賀市役所 文化課文化振興係 担当：杉村、松尾

電話：092-944-6214